

# 原発と私たちは共存できるか

憲法9条—いま、もつとも現実的な選択肢

ここが魅力

# 11.3

講演 小森陽一さん

元気が出る!



小森陽一さん

私たちは地震大国・日本に54基もの原発をいつの間にか容認してしまいました。福島ばかりではなく日本全国に放射能汚染は広がり、命と健康を徐々にむしばんでいます。\*東電発表によると毎日48億ベクレルの放射能がまき散らされています。

核兵器の原料となるプルトニウムは原発から生みだされます。原発も核兵器も、そもそも核戦略上、相互になくてはならないまさに一体のものとして拡大してきました。「どんな場合においても、人間の名において人間を殺してはならない」ということを宣言したのが日

本国憲法九条です」(小森陽一著「ことばの力 平和の力」かもがわ出版より)とするなら、原発もまた、憲法九条と相容れない関係にあります。

原発問題と憲法九条のつながりを読み解くことによって、日本の矛盾の全体像を浮かび上がらせ、そのなかで私たちの進むべき方向が見えてくるのではないのでしょうか。

「日本国憲法九条を守り抜き、改悪させないでその精神を日々行使し続けること」(同)をずっと呼びかけている小森陽一さんに、今回の講演のテーマである、私たちの「問い」をぶつけてみました。

熱い心と緻密な論理で語る思想家・文学者である小森陽一さんが、どんな「答え」を聞かせて下さるか。元気がわき出るまたとない機会です。ぜひお聴き下さい。

**11月3日 14:00-16:30** 会場 くまもと森都心プラザホール (JR熊本駅前)

検索  ホームページ <http://event.kinasse.com/kuma9/>

宣伝用のチラシ・チケットをお届けします

9条を読む100人の声  
プロジェクト展開中!

資料代: 1000円(高校生500円) \*無料託児あり  
主催: くまもと9条の会7周年実行委員会

チケットの購入はこちらへ↓  
お問合せ先: 080-4286-9900

7周年記念講演会

★オープニングイベントをお楽しみ下さい★

ミュージシャンによる  
平和セッション



# かな 奏でる九条

いのち  
生命をつなぐ 緑の種を

やさしく<sup>ま</sup>蒔く人と

燃えたぎる<sup>いのち</sup>生命の尊厳を

高くかかげる人と

ともに集まれ「9条」のもとへ

<sup>からだ</sup>身体と心にしみ込むオーガニック・フォークソング

じんわり胸に響く <sup>ひ</sup>弾き語り

若い詩人の 自作朗読

はじける ジェンベのリズム



さあ、<sup>かな</sup>奏でる九条のはじまりです

出演

■Oto&Ravi (オーガニック・フォークソング)

■川原一紗 (ピアノ弾き語り)、■藤井芳広 (詩人、詩の朗読)

■熊本ジェンベクラブ (西アフリカ太鼓音楽)

明確で力強く、そしてやさしく平和を誓った憲法九条、戦争をしない、させないという願いは、だれもが共有できる普遍的な価値観です。この願いを、音楽と詩を通してミュージシャンに奏でてもらう初めての試みです。参加したすべての人々の琴線にふれる、素晴らしいステージをどうぞお楽しみ下さい。

11月3日 14:00-16:30 会場 くまもと森都心プラザホール (JR熊本駅前)

検索  ホームページ <http://event.kinasse.com/kuma9/>

無料託児あり 資料代：1000円(高校生500円)

チケットの購入はこちらへ↓

主催：くまもと9条の会7周年実行委員会

お問合せ先：080-4286-9900